

5 S-7

千葉職業能力開発短期大学校

図1 三味線「文化譜」の例（一部）

<M> → [<Q>₁, ..., <Q>_i] (i ≥ 1)
 <Q> → <メタ情報> | <P>₁, ..., <P>_j, <音価> (3 ≤ j ≤ 1)
 <P> → <音高> | <休止> | [<Q>₁, ..., <Q>_k] (k ≥ 2)
 <音高> → sb(<※>, <勘所>, <技法>のリスト)
 <※> → 1 | 2 | 3
 <勘所> → 0 | 1 | 2 | 3 | # | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | b | 10 など
 <技法> → ε | ス | ハ | ウ | 裏 | ケ | 打 など
 <休止> → r
 <音価> → t(<音価名>, <符点数>) (通常は2のべき乗)
 <音価名> → <整数>
 <符点数> → <整数>
 <メタ情報> → tuning(<調子名>) など
 <調子名> → 本調子 | 二上り | 三下り | 六下り | 一上り など

図2 文化譜記号化の構文規則(一部)

以上を考慮して、これまでに扱った奏法譜の記号化^{2,3)}と同様、別に定めた音楽記述の枠組み^{1,5)}を用いて文化譜の記号化を行った。その構文規則の一部を図2に、これによって図1(第4段のみ)を記述した例を図3に示す。このような記述を用いて、三味線の旋律のデータベース化を検討中である。

3. 口三味線

図1で、3本の線のさらに上にふってある片仮名は「口三味線」と言われるもので、どの弦をどのように弾くかなどで異なる擬音が割り当てられており、これだけでは旋律を完全に表すことはできないにしても、旋律の特徴、特に音色をある程度表すことができるので、旋律の口伝や記憶の補助のために重宝であり、古くからよく用いられている。

そこで、勘所と奏法の記述(およびリズム)からの口三味線の自動生成を試みた。図3に対して口三

味線を自動生成して付加し、疑似的な文化譜として表示した例を、図4に示す。図1(4段め)の口三味線と完全には一致していない部分のあるのは、口三味線の表し方が厳密に定義されている訳ではないことによる。多数の実例調査による精度向上を検討中である。

作成中の三味線データベースにおける旋律データの入力の際、入力データから生成した口三味線が入力データの検証にきわめて有用であることを確認している。今後はさらに、先に入力した口三味線をガイドとして利用する入力方法を検討し、入力の効率化を図りたい。また、三味線専門家は旋律を口三味線で表現することが多いので、旋律データの検索のための口三味線の利用も検討している。なお、自動演奏を行う際の音色のパラメータとしても、口三味線は利用できるものと考えている。

[文 献]

- 1) 坪井: 音楽情報の記述における記述的記譜への対処, 情報47回全大, 1R-8(1993.10).
- 2) 志村, 坪井, 松島: 日本音楽の情報処理 — 尺八の場合, 情報処理, 93-MUS-2(1993.6).
- 3) 坪井: Prologによる工工四データベースの試み, 平4科研報告書「沖縄古典音楽の伝統譜によるデータベースの構築(代表: 大宮)」, 沖縄県立芸大(1993.3).
- 4) 町田佳馨(監修), 邦楽社編集部(編): 文化譜による三味線手ほどき, 邦楽社(1968).
- 5) 坪井: 邦楽器のための音楽情報処理における奏法譜の利用, 千葉職業能力開発短大紀要, 第2号(印刷中).

```

[ rem(松の緑(長唄)), tuning(本調子),
  sb(2, 0, [])^t(8, 0), sb(2, 0, [ス])^t(8, 0), sb(2, 2, [])^t(8, 0), b(2, 0, [ハ])^t(8, 0), bar(),
  sb(1, 1, [])^t(8, 0), sb(1, 0, [])^t(8, 0), r^t(4, 0), bar(),
  sb(3, 3, [])^t(8, 0), sb(3, 3, [])^t(16, 0), sb(3, 3, [ス])^t(16, 0), sb(3, 3, [ハ])^t(8, 0), sb(3, 3, [])^t(16, 0), sb(3, 3, [ス])^t(16, 0),
  sb(3, 3, [ハ])^t(8, 0), sb(3, 4, [])^t(8, 0), bar(),
  sb(2, 0, [])^t(8, 0), sb(3, 4, [])^t(8, 0), sb(3, 4, [])^t(8, 0), sb(3, 4, [ス])^t(8, 0), bar(),
  sb(3, 4, [])^t(8, 0), sb(3, 4, [ス])^t(8, 0), r^t(4, 0), bar(),
  sb(3, 6, [])^t(8, 0), sb(3, 4, [])^t(8, 0), sb(3, 6, [ウ])^t(8, 0), sb(3, 4, [])^t(8, 0), bar() ]
  
```

図3 文化譜の記号化の例

松の緑(長唄)

本調子

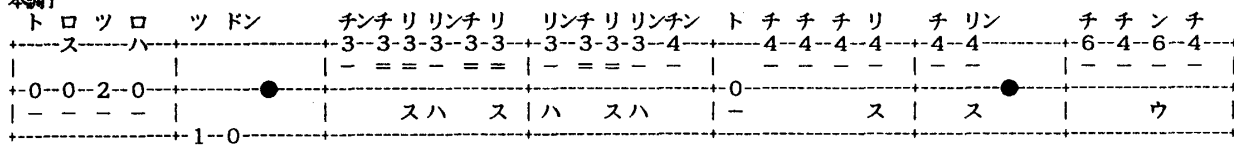


図4 疑似的な三味線文化譜出力